

箕面市の公共交通について

箕面市の公共交通の現状

箕面市と周辺の公共交通

鉄道

阪急電鉄箕面線

阪急電鉄千里線

大阪モノレール彩都線

大阪モノレール本線

北大阪急行線

路線バス

阪急バス

コミュニティバス

オレンジゆずるバス

タクシー



鉄道の概況

鉄道路線の配置

阪急電鉄箕面線

南北

北大阪急行線（延伸予定）

南北

阪急電鉄千里線

南北

大阪モノレール 彩都線

南北

大阪モノレール 本線

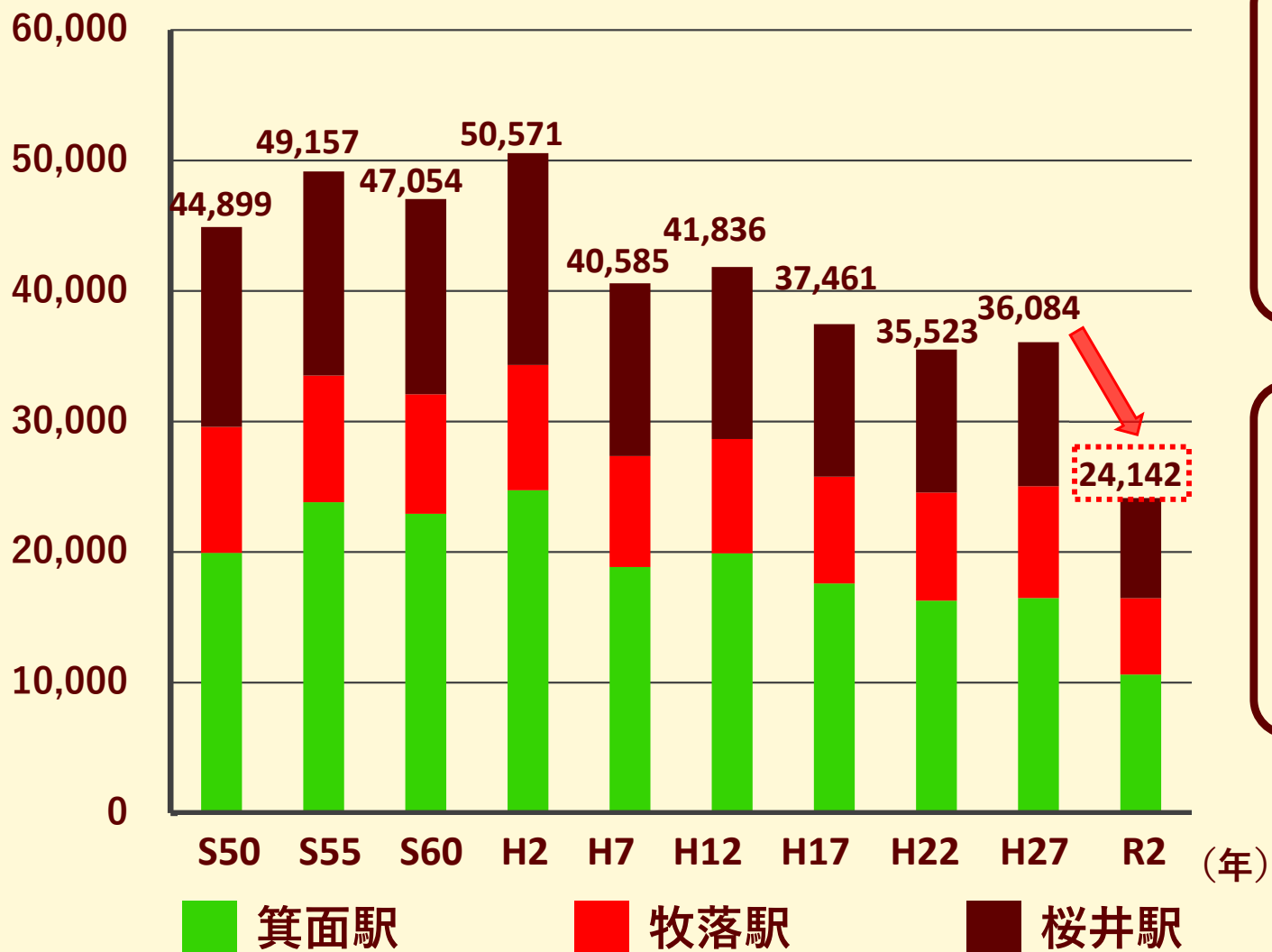
東西



鉄道の概況

各駅の一日平均乗降客数の推移

(人/日)



平日 230本
土曜・休日 208本

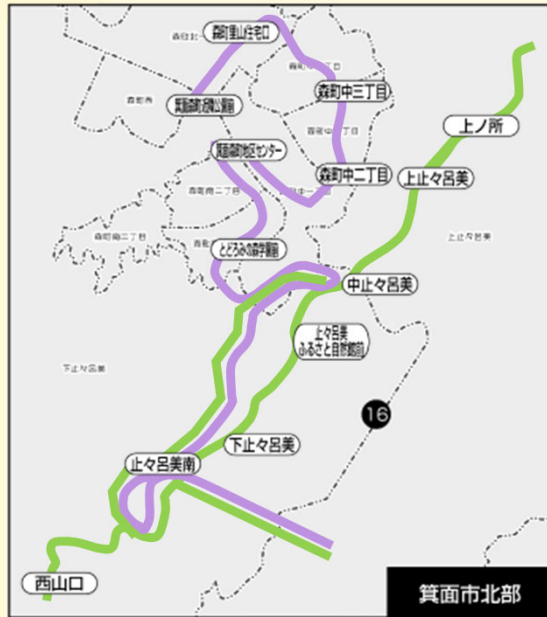
概ね10分に1本
(R3年10月時点)

R2年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅減少

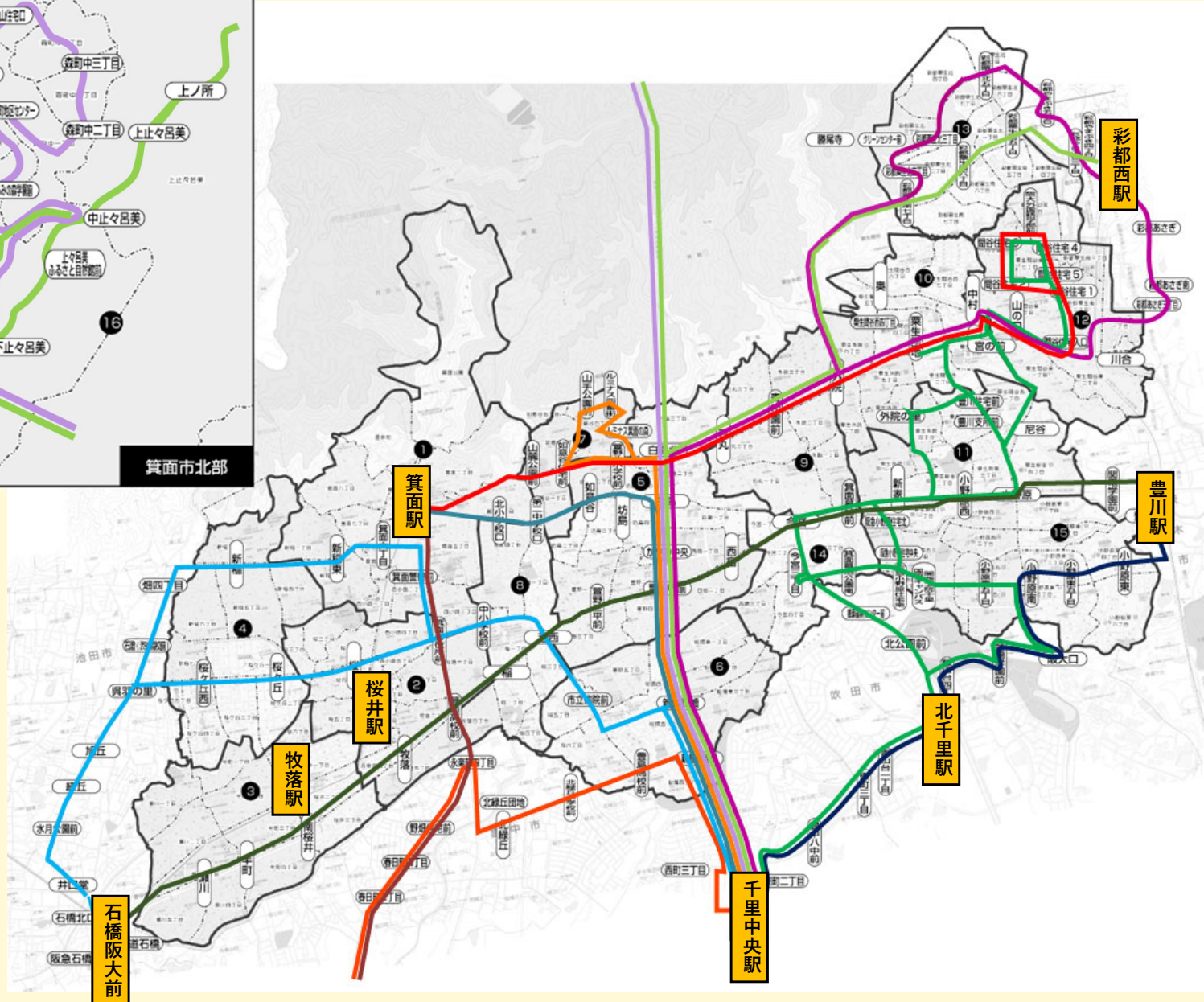
【資料】市勢年鑑

路線バスの概況

阪急バスの路線配置



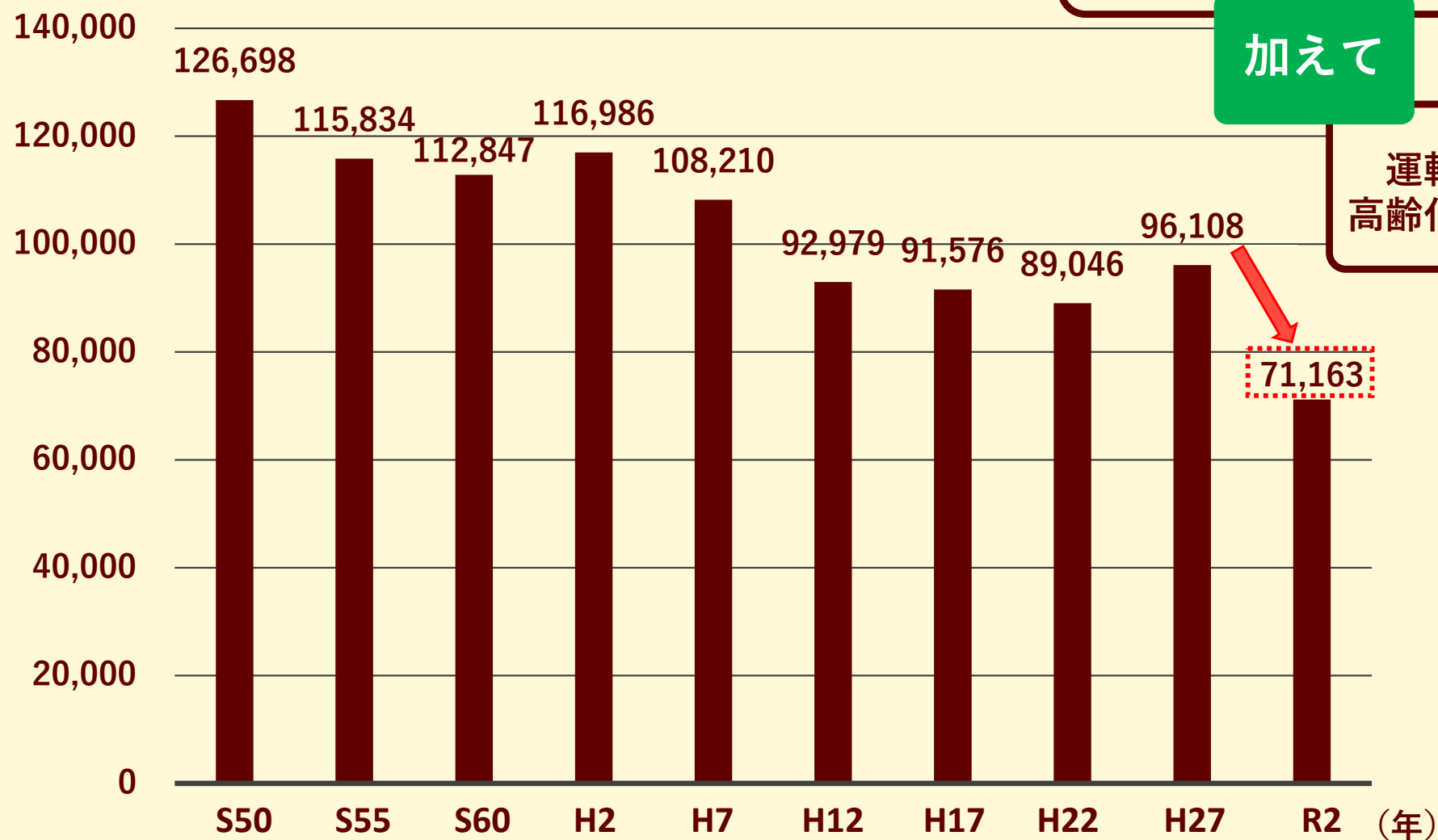
- ： 箕面中央線
- ： 白島線
- ： 如意谷線
- ： 箕面森町線
- ： 北大阪ネオポリス線
- ： 彩都線
- ： 箕面山麓線
- ： 栗生団地線
- ： 小野原東線
- ： 石橋線
- ： 豊中市内線
- ： 阪北線



路線バスの概況

阪急バスの輸送人員の推移

(千人/年)



R2年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅減少

加えて

運転手の
高齢化・減少

【資料】箕面市地域公共交通計画（素案）より、阪急バス（株）提供

コミュニティバスの概況

オレンジゆずるバスの路線



コミュニティバスの概況

オレンジゆずるバスの路線

-箕面コミュニティバス- オレンジゆずるバス バスマップ 日曜・祝日版 Go!Go!ショッピング!!

平成28年7月17日改定版

ぜひ、ご利用ください!

紫ルートは
利用者の多い時間帯に運行ダイヤ
を増やし、箕面駅へのアクセス
が便利!

緑ルートは
地域を左回りと右回りに循環する
運行ルートで、所要時間を短縮し
て利便性をアップ!

※時刻表は裏面をご覧ください。

紫ルート

利用者の多い時間帯に運行ダイヤ
を増やし、グルメとショッピングに
便利な箕面駅周辺へ行きやすくなり
ました。全方面から箕面駅へアク
セスが出来ます。

箕面駅エリア



食料品店や生活用品店、飲食店など何でも揃う箕面駅
新しさと便利さを同時に感じる事ができる

桜井エリア



飲食店、評判のお店などが、多数点在するアクア
エリア

凡 例

◆運行ルート
 紫ルート：箕面駅・桜井・平和台・如意谷循環
 緑ルート：かやの中央・小野原・粟生団地循環

◆バス停
 オレンジゆずるバス専用バス停

にぎわい
エリア
 それぞれのルートには、人が集まる
にぎわいエリアを表示してありま
す。ぜひ、オレンジゆずるバスに乗っ
て、おでかけください。

こんなバス停
が
立っています。

マイダイヤ を作ろう!

自分がよく使うバスの時刻を書き込んで、
自分だけのオリジナル時刻表を作ろう!

ルート	バス停	バス停	バス停
1	:	発	着
2	:	発	着
3	:	発	着
4	:	発	着
5	:	発	着
6	:	発	着

緑ルート

かやの中央を起点に、左回りと右回
りに循環する運行ルートを設定、買
い物に便利なかやの中央や、おしゃ
れな小野原西地区への所要時間を
短縮しました。

かやの中央エリア



自然を感じながらお買い物出来るエリア。県内最大級のオー
プン型複合ショッピングセンターでお買い物をぜひ。

粟生エリア



粟生には「新設のタペ」開業。地元産農産物100%エリア

船場エリア



ビバキス館ながらおしゃれなカフェやインテリアショップ
が点在。リラクゼーションには天然温泉が最高!

小野原エリア

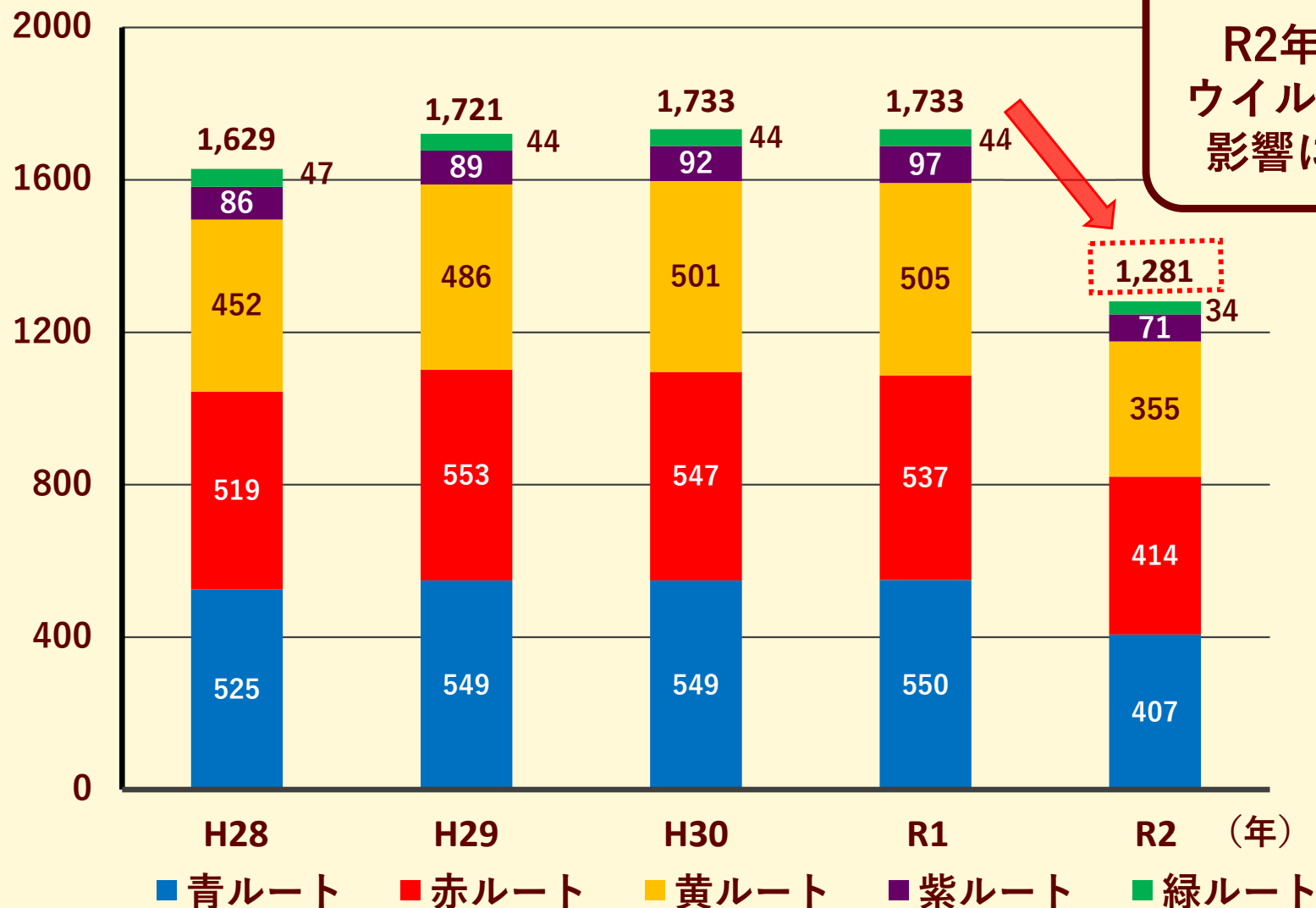


高級感漂う素敵なお店が立ち並んでゆったりと過ご
す休日にピッタリな人気スポットを大満喫!

コミュニティバスの概況

オレンジゆずるバスの利用者数

(人/日)



H28年～R1年では
利用者数は漸増傾向

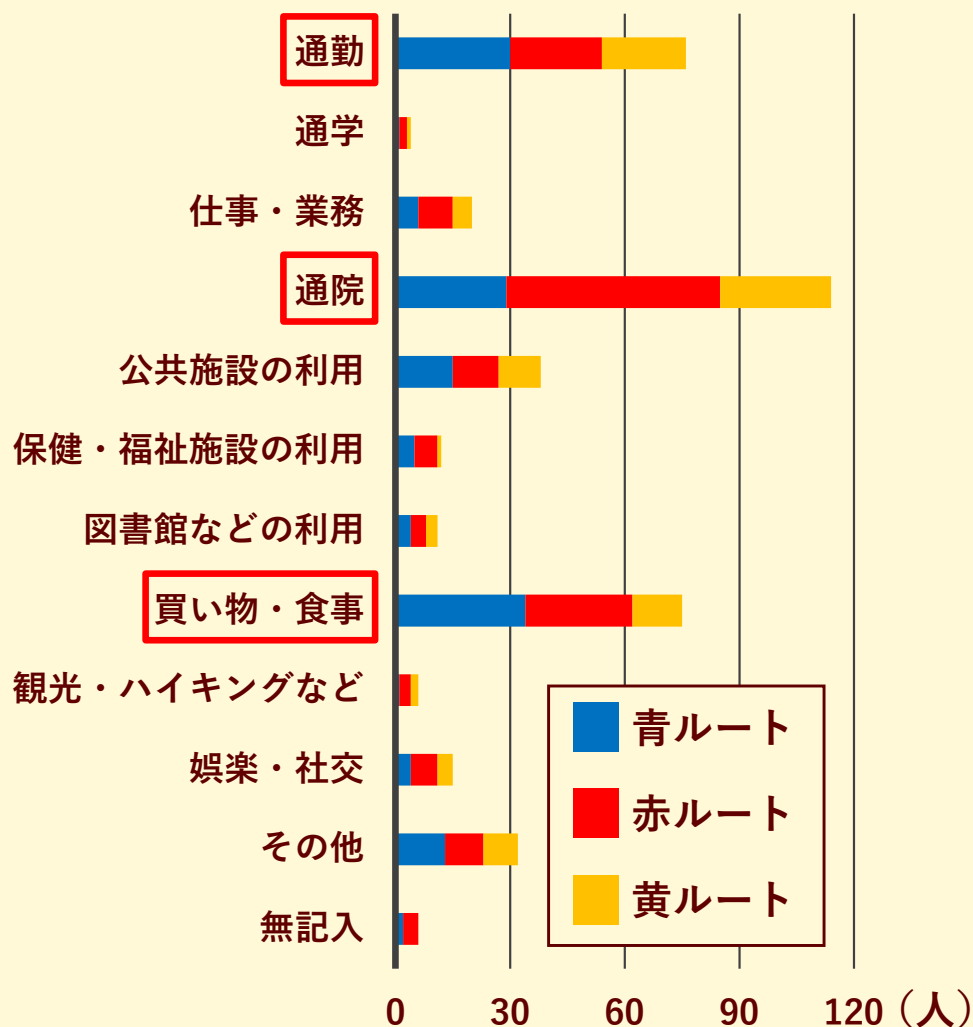
R2年は新型コロナ
ウイルス感染症拡大の
影響により大幅減少

【資料】 箕面市地域公共交通活性化協議会資料

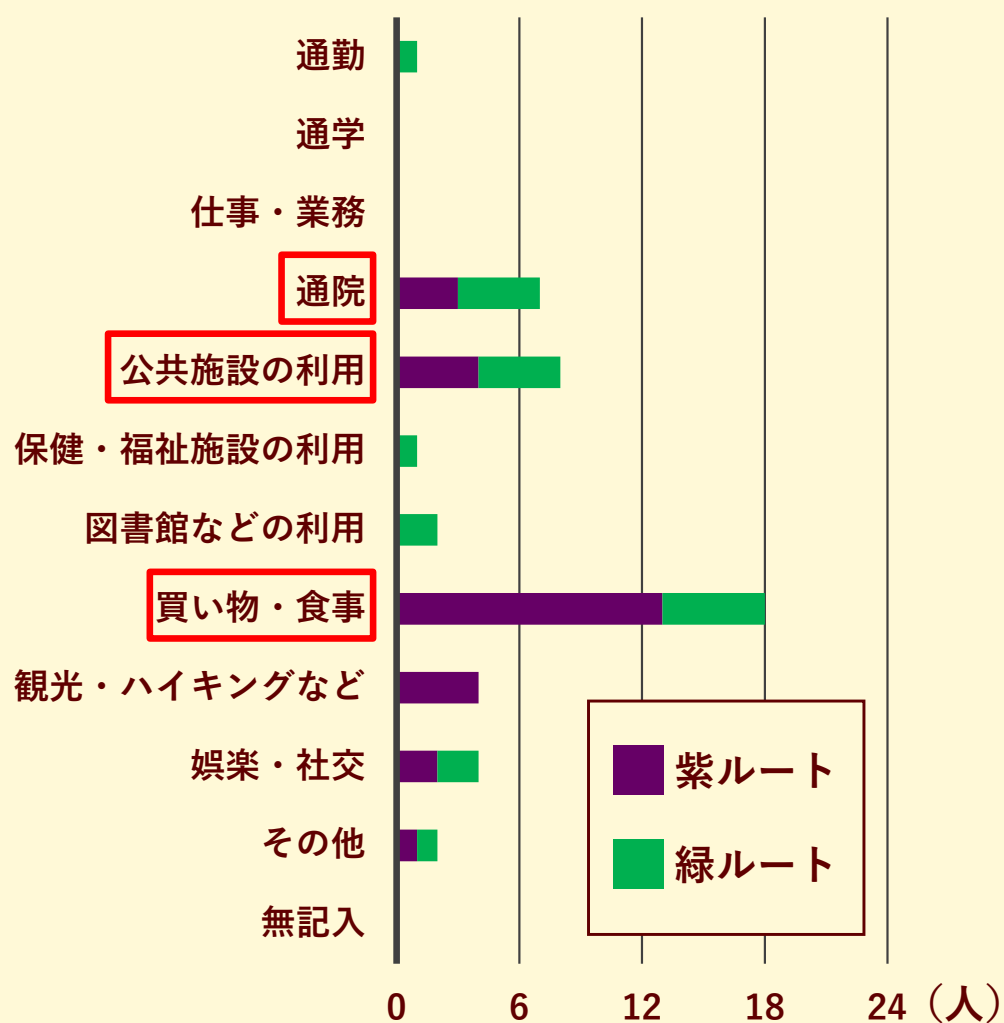
コミュニティバスの概況

オレンジゆずるバスの利用目的

【平日】回収数 = 409



【休日】回収数 = 47

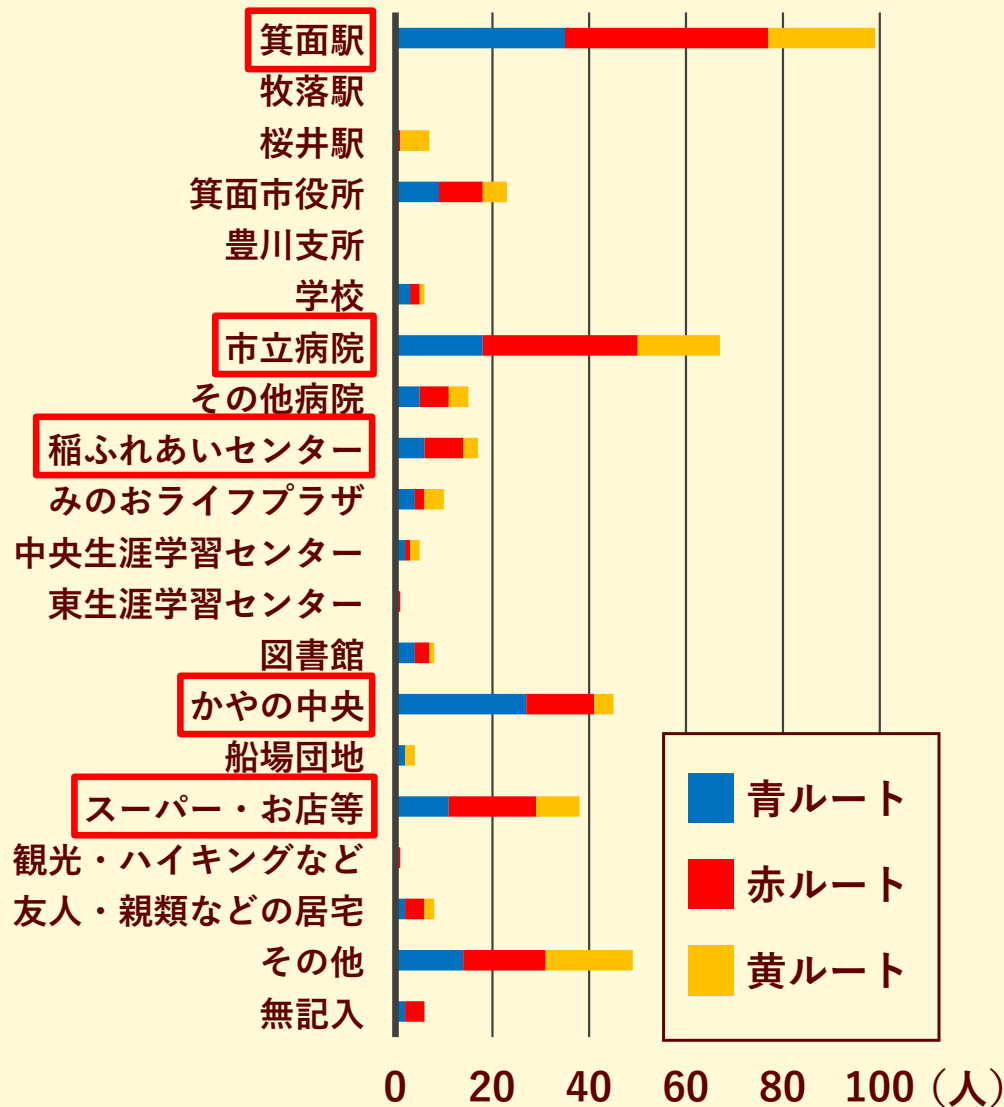


【資料】 R3年実施オレンジゆずるバス利用者アンケート

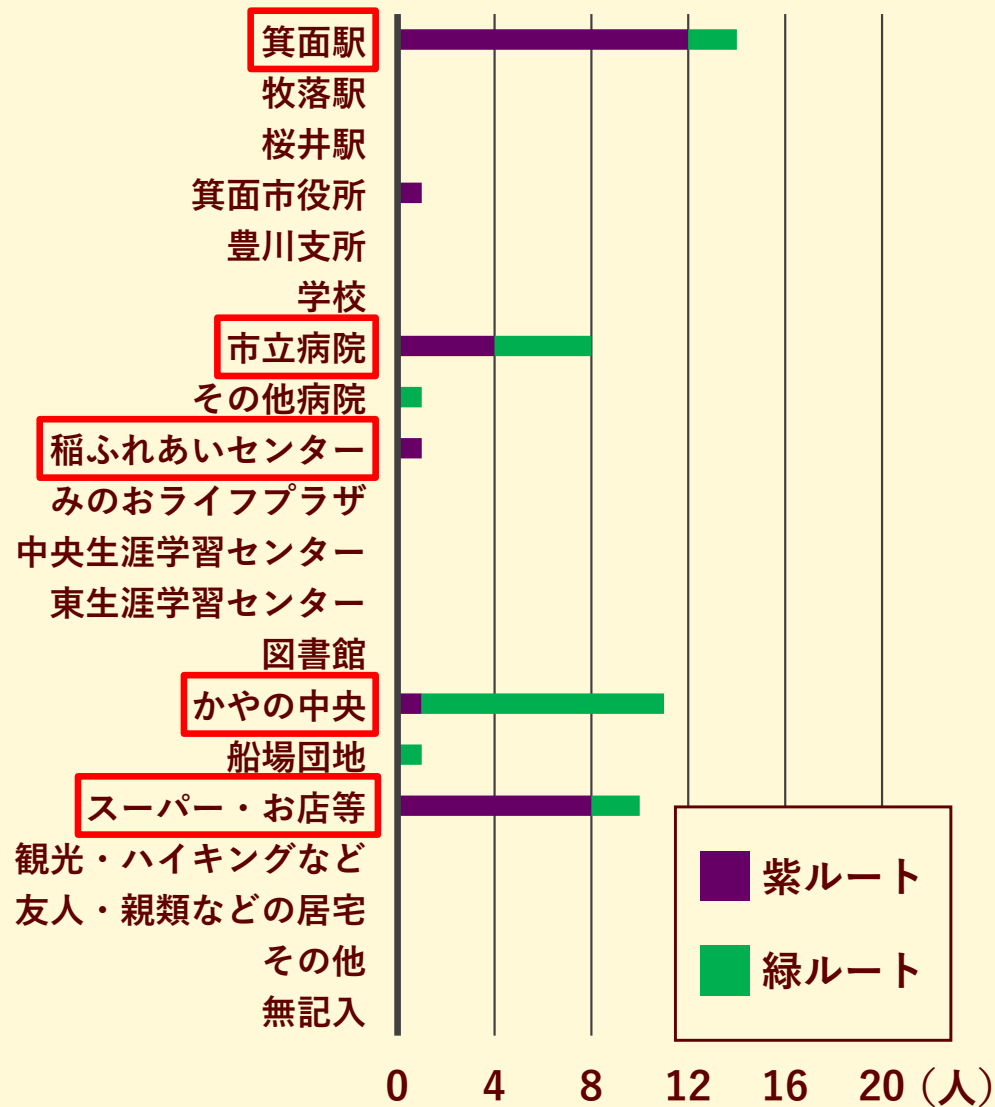
コミュニティバスの概況

オレンジゆずるバス利用者の目的地

【平日】回収数＝409



【休日】回収数＝47



【資料】R3年実施オレンジゆずるバス利用者アンケート

コミュニティバスの概況

オレンジゆずるバスの収支状況

目標：収支率50%

(行政と利用者で1:1の負担)

【令和元年度】(新型コロナウイルス感染症影響前)

収支率：[平日・土曜] 47.7%

(参考：令和3年度 36.9%)

[日曜・祝日] 30.9%

(参考：令和3年度 22.1%)

収 支：1億1,400万円 — 5,400万円 = 6,000万円
(運行経費) (運賃収入) (赤字分)
(参考：令和3年度 7,900万円)

<市補助金> ※
2,900万円
(参考：令和3年度 1,700万円)

<市負担金>
3,100万円
(参考：令和3年度 6,200万円)

※市補助金について

70歳以上のかたに対して、高齢者運賃割引証を交付しており、通常220円のところを100円でご乗車いただけます。市内の住宅街や公共施設を循環する「オレンジゆずるバス」を運行し、その運賃を割引くことで高齢者の社会参加と介護予防の機会の確保に大きな役割を果たしていることから、割引額の120円に対して介護保険を活用した補助金を受けています。

箕面市の公共交通の課題

課題

1 公共交通利用者の減少による公共交通の利便性の低下

箕面市では人口が増加しているにもかかわらず、公共交通の利用者が減少しています。今後、人口減少や少子高齢化の進行などにより、さらなる利用者の減少が見込まれ、公共交通が「そこにあって当たり前」な社会は終わりつつあります。公共交通を維持・確保していくためには、そこに住む市民が公共交通を利用することが何よりも重要です。

2 市内東西移動の利便性の向上

現在の市内のバス路線は、千里中央駅を中心とした「駅と駅」「駅と住宅街」を結ぶフィーダー型の路線となっており、千里中央駅から南北に放射状に路線が伸びるように路線網が形成されております。そのため、市内の東西移動が不便になっており、路線バスを補完する役割としてオレンジゆずるバスを運行してきましたが、引き続き、自動車分担率が高い状況が続いています。

市内を回遊しやすいネットワークの形成により市内での消費喚起につなげるなど、まちの活気と活力の維持、持続的な発展を目指して、市内の東西移動の利便性を向上させる必要があります。

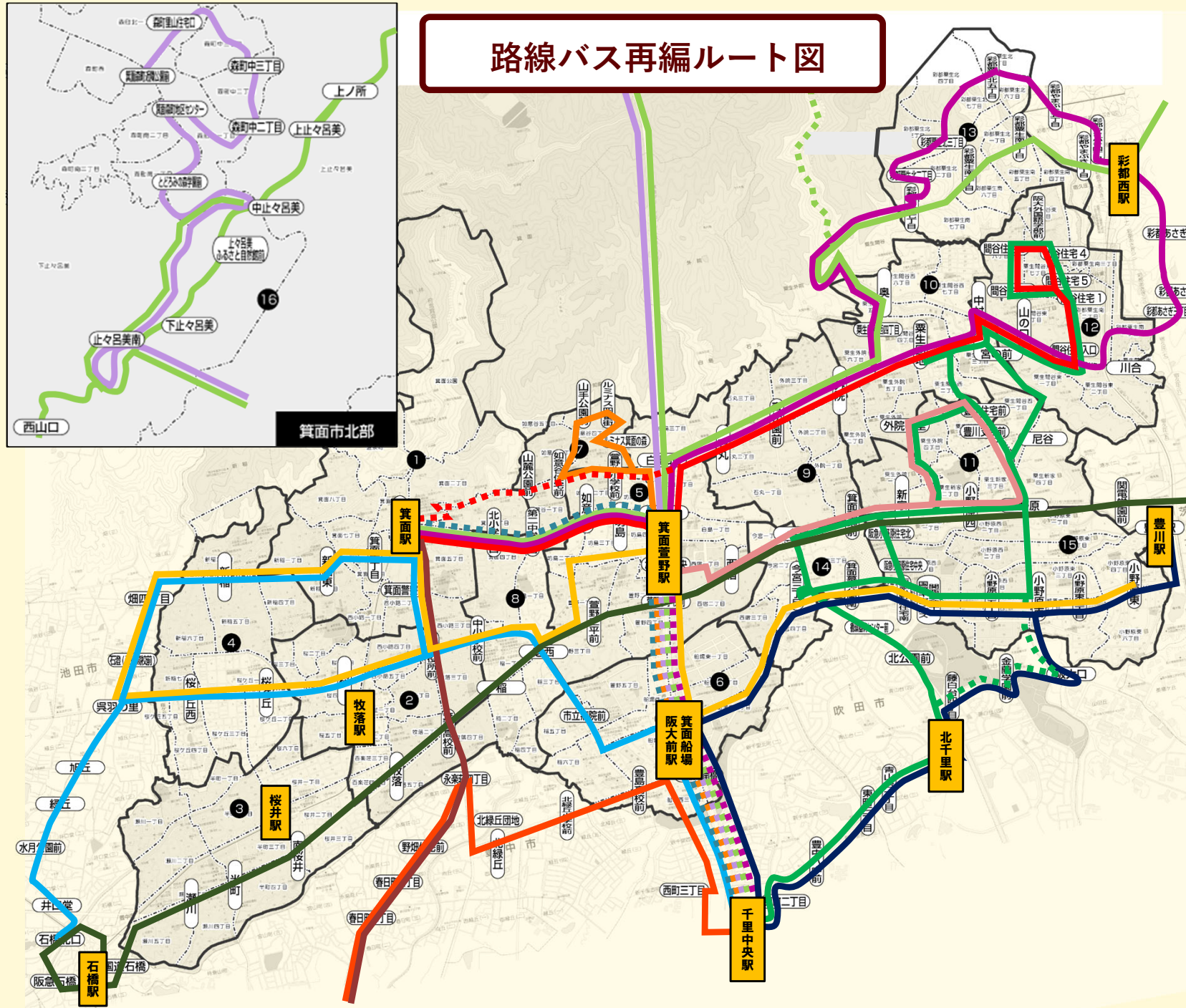
路線バス網再編により解決される課題

▼現在のバス路線（イメージ）



箕面市の公共交通の課題

路線バス再編ルート図



社会実験路線

箕面市負担

① (仮) 箕面小野原線

阪急バス負担

①如意谷線
②箕面山麓線
③小野原東線のうち、箕面船場経由の系統

- 箕面中央線
- 白島線
- 如意谷線
- 箕面森町線
- 北大阪ネオポリス線
- 彩都線
- 箕面山麓線
- 栗生団地線
- 小野原東線
- 石橋線
- 豊中市内線
- 阪北線

- (仮) 栗生・萱野線
- (仮) 箕面小野原線

再編にあたり、運行をとりやめる区間

各交通機関の特徴と役割

交通機関	特 徴	役 割
鉄道	・ 大量輸送が主 ・ 運行には軌道駅が必要	・ 箕面市と他の都市圏などを結ぶ広域的な輸送 ・ 空港や新幹線へのアクセスなど、長距離移動の発火点となる
路線バス（阪急バス）	・ 中量輸送が主 ・ 一定幅員が確保できれば運行可能	・ 住宅地から主要な鉄道駅へのフィーダー輸送 ・ 一定の需要が見込まれ、営業路線として成立する地域の運行
コミュニティバス （オレンジゆずるバス）	・ 小中量輸送が主 ・ 路線バスより細やかな道路でも運行可能	・ 市内完結型の輸送 ・ 営業路線としては成立しないが、市民の移動に欠かすことができない地域の運行（路線バスの補完） ・ 持続的な運行のため、一定の採算性が確保できるだけの需要が見込まれるルートでの運行(これまでの目標は収支率50%)

箕面市の公共交通の課題

この先議論する
必要がある

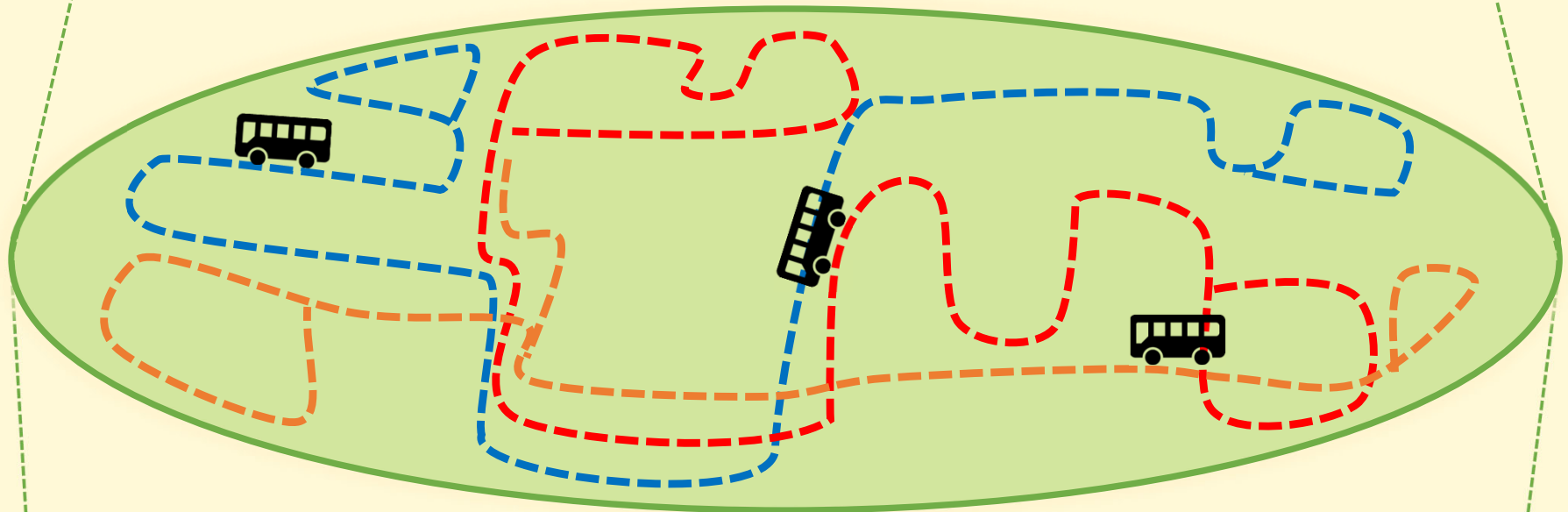
その他の移動手段



徒歩、自転車のほか、EVなどの
小型モビリティによる移動

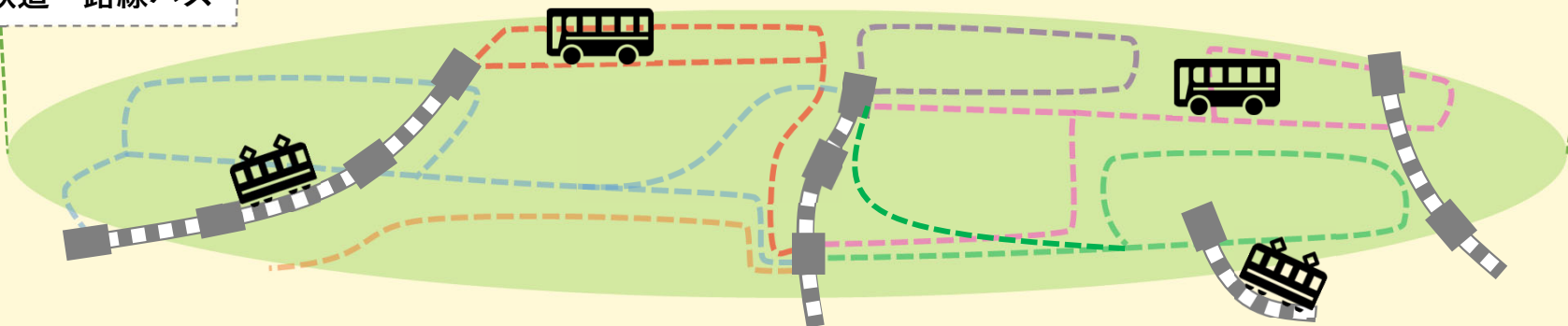
コミュニティバス（オレンジゆずるバス）

路線バスよりも細やかな道路を運行



分科会で議論する内容

鉄道・路線バス



既に決定している

オレンジゆずるバス再編時の視点

路線バス網再編により、東西移動の不便さは一定改善されますが、市立病院や公共施設へのアクセスについては引き続き補完する必要があります。特に、如意谷地域から箕面駅周辺及び市立病院へのアクセスについては、北大阪急行線の延伸による路線バスの減少等が見込まれるため、オレンジゆずるバスなどにより重点的な補完を検討する必要があります。

【重点的な補完が必要と考えられる地域・路線】

・如意谷地域から箕面駅周辺へのアクセス

→路線バスの路線再編により山麓線が箕面萱野駅経由箕面行となることから、白島北以西の地域から箕面行の路線バスの運行が取りやめになります。

・市立病院へのアクセス

→白島線の見直しや箕面中央線の運行頻度減少により、路線バスでの市立病院へのアクセスが減少します。

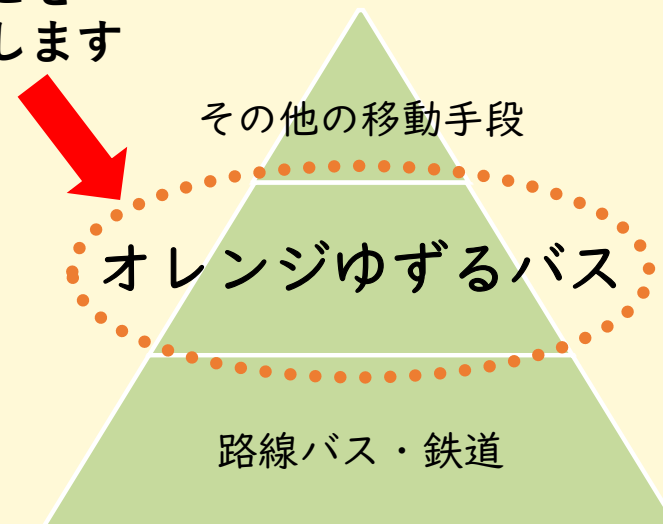
分科会について

オレンジゆずるバス再編検討分科会

目的

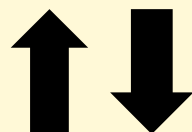
ワークショップ形式で開催し、市民意見をもとに、オレンジゆずるバスの路線・運行計画の再編、利用促進、評価指標について検討し、再編案を作成することを目的とする。

ここを
議論します



位置付け

箕面市地域公共交通活性化協議会

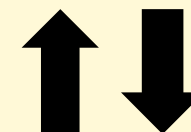


オレンジゆずるバス再編検討分科会

【構成員】

市民部会：市民、商工関係者

専門部会：学識経験者、バス事業者、行政



路線バス網再編検討分科会

オレンジゆずるバス再編検討分科会

スケジュール

